

スタートアップ研究フォーラムについて

宮 地 孝 宜
(東京家政大学)

本稿は、第33回大会で初めて開催された「スタートアップ研究フォーラム(以下、フォーラム)」の趣旨や成果、今後の展望等について報告するものである。

本フォーラムは、若手・中堅研究者、実践者、学生等の研究のさらなる活性化に寄与することを目的として、常任理事会で議論を重ね、試験的に実施することになったものである。

上記の趣旨から、フォーラムの話題提供者、コーディネーターは、若手・中堅の会員が担当することとした。また、企画・運営に当たっては、同じく若手・中堅会員からなる運営委員会を設置し、テーマ設定や話題提供者、コーディネーターの選出を行った。

フォーラムの概要は以下のとおりである。

テーマ：生涯学習推進の課題とイノベーション

(2日目の生涯学習政策研究フォーラムと同じテーマ)

コーディネーター： 熊谷 慎之輔会員(岡山大学)
田井 優子会員(八洲学園大学)

話題提供者： 生涯学習における人材育成・能力開発と ICT
吉田 広毅会員(常葉大学)
生涯学習支援の「職場」における学習をどうとらえるか
松橋 義樹(女子美術大学・非)

熊谷会員、田井会員のコーディネートの下、吉田会員、松橋会員から、貴重な提案がなされ、活発な意見交換が行われた。なお、提案の詳細については、本年報を参照いただきたい。

フォーラムには、若手・中堅のみならず、多くの会員の方々に参加いただき、研究に対するアドバイスをいただいた。さらに、2日目の「生涯学習政策研究フォーラム」において報告する機会を頂戴することもできた。これらの経験は、若手・中堅会員にとって、研究を進める上で貴重な示唆を得るばかりか、多くの会員の皆様が関心を示していただいたことが、大きな励みとなり、今後の研究活動推進のインセンティブとなったと確信する。

また、本フォーラムは、学会大会前に、コーディネーター、話題提供者、運営委員会メンバーらが、web 掲示板を活用し、フォーラムの趣旨やねらいの共有を行ったことも特筆すべき事項である。事前の交流により、フォーラムの内容がより深化し、当日の議論の活性化につながったと言えよう。

さらに、大会後、フォーラムの趣旨である若手・中堅会員の研究の活性化、そして交流を進めるため、常任理事会での議論を経て、「スタートアップ研究会」を本学会研究委員会の下部組織として発足することとなった。活動は始まったばかりであり、課題も少なからず存在するが、会員の皆様のご指導、ご支援をいただきながら、進めて行きたい。